

## 令和 3 年度 事業計画

### 1 基本方針

新型コロナウイルスの感染終息の見通しは、ワクチン接種が開始されるなど明るい兆しもありますが、変異ウイルスが急拡大するなど依然不透明な状況です。

鹿山会としてもこのような状況を踏まえ、感染拡大防止に十分留意しつつ事業の円滑な実施に努め、会員の絆を深めるとともにさらなる本会の発展を図ってまいります。

また、コロナ禍にあっても在校生が心豊かな高校生活を送れるよう、一層の教育環境の充実に協力してまいります。特に国際交流支援について、昨年度で SGH(スーパーグローバルハイスクール)の研究開発事業は終了したところですが、全国の SGH 校とのネットワークに加盟し、引き続きグローバル人材の育成をめざしていく母校の要請を踏まえ、必要な支援の充実に努めます。

さらに、藩校時代からの歴史と伝統を継承していくため、鹿山文庫関係資料・佐倉高校記念館の保存等にも協力していくとともに、令和 4 年には藩校創立 230 周年を迎えることとなり、記念事業の実施についても検討してまいります。

具体的には、次の実施要領に沿って諸事業を展開いたします。

### 2 実施要領

#### (1) 会議等の開催

- ・総会、評議員会、役員会の開催

※新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、中止または縮小開催する場合があります。

#### (2) 各支部及び同期会の総会等に会長等が出席し、連携を強化する。

#### (3) 各委員会の活動

##### □総務委員会

- ①総会、役員会等の会議開催及びその準備
- ②年会費、入会金の納入通知及び収納事務（年会費は 10 月に通知）
- ③予算、決算等の作成
- ④各支部との連絡調整
- ⑤藩校創立 230 周年記念事業の準備検討
- ⑥県立移管 120 周年記念版『会員名簿』の販売

※地域交流施設で 1 部 2,000 円（約 200 部、郵送等はない）

##### □広報委員会

- ①鹿山会報第 17 号の編集・発行

発行日予定：10月20日

配布先：会員（約17,000人）及び在校生等（約2,000人）

印刷部数：19,000部

②鹿山会ホームページの管理運営

鹿山会及び母校に関する情報発信

□教育振興委員会

①生徒奨励

- ・新入生への校章贈呈
- ・卒業生に記念品贈呈
- ・「鍋山祭」への助成
- ・卒業生による講演会「ようこそ先輩」への助成

②部活動奨励

- ・関東大会（準ずるものを含む）以上の競技会等への参加助成

③国際交流支援

- ・シンガポール、オランダ、ドイツ(イギリス)への派遣事業の助成

□鹿山文庫委員会

①「鹿山文庫関係資料」等の保存管理・展示充実に協力

②鹿山文庫講演会を開催(母校と共催)

- ・日時 11月27日(土) 14:00～
- ・会場 母校・地域交流施設研修室
- ・テーマ 「藩校成徳書院における初等教育～東塾・西塾を中心に～」
- ・講師 外山信司氏：千葉市立郷土博物館総括主任研究員・元佐倉高校教頭
- ・募集人数 70名

③全国藩校サミットへ参加

「第18回全国藩校サミット壬生大会」11月20日(土)～21日(日)

栃木県壬生町(壬生藩校：学習館)で開催予定

## 令和3年度 鹿山会予算

### 1 一般会計

(単位：円)

#### (収入の部)

科目	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
1 入会金	1,280,000	1,280,000	0	卒業生入会金 4,000×320人
2 年会費	4,000,000	4,000,000	0	年会費 2,000+寄付金
3 雑収入	800,000	800,000	0	総会参加者負担金800,000
4 繰入金	0	0	0	基本基金会計より
5 繰越金	5,397,657	2,136,215	3,261,442	前年度より
合計	11,477,657	8,216,215	3,261,442	

#### (支出の部)

科目	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
1 総務費	3,960,000	3,960,000	0	
(1)会議費	1,200,000	1,200,000	0	総会懇親会経費950,000、評議員会・役員会経費
(2)財務費	2,270,000	2,270,000	0	年会費案内・鹿山会報発送委託料
(3)交際費	240,000	240,000	0	支部総会参加費、転退職職員饗別等
(4)事務費	250,000	250,000	0	通信費、消耗品等
2 広報費	770,000	770,000	0	
(1)鹿山会報費	700,000	700,000	0	会報制作・印刷経費 (会員及び在校生等に配布)
(2)ホームページ費	40,000	40,000	0	ホームページ管理委託料
(3)事務費	30,000	30,000	0	通信費、消耗品
3 教育振興費	2,280,000	2,130,000	150,000	
(1)生徒奨励費	630,000	630,000	0	鍋山祭助成 240,000、卒業記念品 177,000、 新入生校章 138,000、ようこそ先輩助成 70,000
(2)部活動奨励費	800,000	800,000	0	関東大会以上の出場助成
(3)国際交流支援費	850,000	700,000	150,000	シンガポール・オランダ・ドイツ(イギリス) 生徒32名 引率5名
4 鹿山文庫費	150,000	150,000	0	
(1)保存管理費	100,000	100,000	0	指導員費(祝日等)助成63,000
(2)藩校継承費	50,000	50,000	0	鹿山文庫講演会経費30,000
5 諸費	0	0	0	
6 予備費	4,317,657	1,206,215	3,111,442	
合計	11,477,657	8,216,215	3,261,442	

### 2 基本基金会計 (積立金)

(単位：円)

科目	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
前年度末現在高	17,954,194	17,954,042	152	繰越金
増減 見込				
積立(+)	152	152	0	利子収入
取崩し(-)	0	0	0	一般会計へ操出
当年度末現在高見込	17,954,346	17,954,194	152	翌年度へ繰越予定